

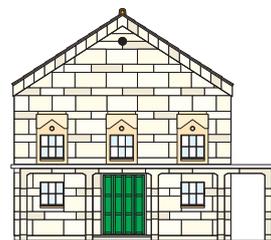
Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-06-20

APM news 063

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

長岡造形大学 学外授業 6月15日(金) pm 1:30~4:30/参加者:10名

御法川研究室・視覚デザインプロジェクト演習講評会



長岡造形大学・視覚デザイン学科4年生の御法川研究室では、学外授業として秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) にて学生作品の批評やアドバイスを行う講評会を行った。これは5月18日(金)に続いて2回目の試みである。視覚デザイン学科では4年次に、卒業研究、視覚デザインプロジェクト演習という2つの実技の単位を取るようになる。御法川研究室ではプロジェクト演習においてポスターを作成する課題を扱っている。学生作品の講評会の場として、ポスターのみを常に展示している APM は非常に魅力的であると常々考えていたため、秋山館長の了解を得て学外授業として活用させていただくことになった。授業課題のテーマとして扱っていたのは「地震」「原発」という2つである。ちょうど6月いっぱいまで、APM では「NO MORE FUKUSHIMA」展を開催しているため、学生の参考としてもピッタリとはまる。講評会では床に学生作品を全て並べ、壁面に3段で貼られたポスター群に囲まれながら自分の作品と対峙することになる。これが学生にとって程よい緊張感と刺激をつくり、学内で行う授業とは違ったものとなる。日本や世界の著名なグラフィックデザイナーの作品と自分の作品を同じ空間で比較し、その違いを知るといったことは作品の質を上げていくのに有効である。御法川研究室は10名で、クラス内でお互いの作品を比較しライバル関係を築いていくには作品数が少ない状況である。しかし APM においては世界のグラフィックデザイナーに対して勝手にライバル心を燃やして作品で挑んでいくこともできる。これは大きなメリットである。

長岡造形大学は APM と比較的近い距離にありながら、これまで連携するということがあまりなかった。こうして授業を行うことで、大学との距離が近づき、学生にもっと身近かなものになってほしいと考えている。それによって学生はこれまで知らなかった作家を知ったり、質の高いものに触れることができ、多くの刺激を得られるはずである。また今後は、7月7日(土)そして9月以降も学外授業として、学生達に対してこの魅力的な場を活用させていただく予定である。(長岡造形大学・視覚デザイン学科/御法川)



視覚デザインプロジェクト演習 講評会風景